

教育委員会議事録

(公開部分)

令和6年9月定例会

海老名市教育委員会

教育委員会議事録
(令和6年9月定例会)

- | | | | | | |
|---|--------------|---|---------------------------------|--|------------------|
| 1 | 日 付 | 令和6年9月25日(水) | | | |
| 2 | 場 所 | えびなこどもセンター 3階 301会議室 | | | |
| 3 | 出席委員 | 教育長
教育委員 | 伊藤 文康
武井 哲也 | 教育委員
教育委員 | 濱田 望
海野 望 |
| 4 | 出席職員 | 教育部長

教育部参事兼教
育総務課長

学び支援課長 | 江下 裕隆

西海 幸弘

松本 晃子 | 教育部次長

教育部参事兼就
学支援課長兼指
導主事 | 吉川 浩

山田 圭 |
| 5 | 書 記 | 教育総務課総務
係長 | 小林 亮介 | 教育総務課主査 | 片山 考人 |
| 6 | 傍聴人 | 0名 | | | |
| 7 | 開会時刻 | 午後3時30分 | | | |
| 8 | 付議事件
報告事項 | | | | |
| | 報告第 30 号 | 海老名市教育委員会関係職員の人事異動について | | | |
| | 報告第 31 号 | 工事請負契約の変更に関する意見の申出について(海老名市立中新田小学校校舎外装改修工事) | | | |
| | 報告第 32 号 | 海老名市中学3年生応援インフルエンザ予防接種助成金交付要綱の改正について | | | |
| 9 | 閉会時刻 | 午後4時10分 | | | |

○伊藤教育長 本日の出席委員は3名でございます。定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。これより教育委員会9月定例会を開会いたします。

傍聴希望者はございません。

本定例会の会議録署名委員は、濱田委員、武井委員にそれぞれよろしくお願いいたします。

○伊藤教育長 それでは初めに、教育長報告をいたします。

主な事業報告です。8月20日（火）、教育委員会8月定例会がございました。教育課題研究会です。

21日（水）に須坂市親子自然体験教室見送りがありました。須坂に行く1、2年生を対象に、バス1台で20組ぐらいだったかな……。

○教育部長 そうです。19組……。

○伊藤教育長 ところが、すごい応募人数なのです。無料でというのは言葉が変ですが、それでも、親子でキャンプに行って、高原で過ごせるので。泊まるのは、ロッジというか、そういうところに泊まる。

○武井委員 全て無料なのですか。

○伊藤教育長 そうです。

○教育部長 森林環境譲与税で。

○伊藤教育長 だから、応募数を増やしたいのだけれども、須坂のほうの受入れがそれ以上はちょっと難しいと伺っています。

市長定例記者会見がありました。市主催研修会は先生方、教員たちの研修です。国語、算数・数学、教育支援教室、音楽をやりました。通学路安全対策委員会がありました。

22日（木）は、校長連絡会、市主催研修会が保護者対応とPAの関係がありました。

23日（金）のひびきあう教育研究発表大会には、皆さんにもお越しいただきました。

24日（土）は、扇町おもいでまつりがありました。

26日（月）は、県・市フルインクルーシブ教育推進会議がありました。二十歳の祝典実行委員会、今年度第1回目が始まったところでございます。

27日（火）は第二学期始業式があって、朝のあいさつ運動を門沢橋小学校で、学校事務職員との負担軽減に係る対話の場ということで、学校事務の人たちとの話し合いを持ちました。同日、市議会第3回定例会本会議が開会となったところでございます。

28日（水）は、社会教育委員会議、初任者デイキャンプ、代表質疑部内ヒアリング。

29日（木）は、代表質疑市長ヒアリング、台風10号情報連絡会、えびなの教育編集会議、小学校連合運動会実行委員会がありました。

めくっていただいて、30日（金）は台風10号災害警戒本部会議が設置されて、小中学校臨時休校とさせていただきました。教育委員会辞令交付式、8月校長会議がありました。教頭人事交流者面談ということで、教頭職の人が厚木市、綾瀬市、大和市に人事交流ということで、海老名の教頭が外で教頭をしていますので、その方々の面談がありました。

31日（土）は台風10号災害警戒本部会議で、今回は土砂災害と言ったら言葉が変ですが、崩れて道路が閉鎖されたりするようなことが海老名でも起こったところがございます。

9月に入りまして、2日（月）は市議会第3回定例会の代表質疑がありました。この日、一般質問振り分け・部内調整会議がありました。

3日（火）は一般質問部内ヒアリングで、4日（水）は一般質問市長ヒアリングと進んでございます。市主催研修会英語専科公開授業が門沢橋小学校でありました。

5日（木）は初任者授業参観で海老名小学校に、6日（金）は樺ロータリークラブ面会がありました。みんなで取り組む学校づくり推進委員会がありました。

7日（土）は、海老名高校文化祭、中新田かかしまつり審査会、海老名市PTA連絡協議会本部役員交流会に出席しました。

8日（日）は東関東吹奏楽コンクールで海老名中学校が出場したのですが、銀賞ということで全国大会はかないませんでした。

9日（月）は、初任者授業参観で社家小学校に行きました。

10日（火）は、小学生十五夜豆腐寄贈セレモニーが中新田小学校で行われたところでございます。小学生全員分、それからその他の方々に豆腐が届いたことと思います。国際教育担当者会、教育支援体制推進委員会。

12日（木）から市議会第3回定例会本会議の一般質問が3日間ありました。13日（金）が2日目で、途中、9月教頭会議がありました。

15日（日）は、海老名中学校区オアシスポスター審査会、白石市海老名市姉妹都市提携30周年記念式典・祝賀会が行われました。

17日（火）は、3日目の一般質問ということで、本会議がありました。

18日（水）からフルインクルーシブ教育対話の場ということで、障がい者支援団体の方で、自閉症児者保護者の会の方々と話合いをしました。海老名市児童画コンクール実行委員会がありました。

20日（金）は予算決算常任委員会文教社会分科会決算審査ということで、私は出席しないのですけれども、部長、次長、課長、担当課長、係長、担当者等が行って、決算審査が行われたところでございます。市主催研修会ということで、総合的な学習の時間を取り上げました。えびなの教育編集会議がありました。

22日（日）は、中新田かかしまつり表彰式がありました。

24日（火）は、学校事務調整会議、授業改善実践推進委員会授業研究が上星小学校でありました。

本日、25日（水）は、教育委員会9月定例会、教育課題研究会、大和市教育長来館ということで、明日議会で承認されるのですけれども、ここで現大和市教育長は退任されるということでご挨拶に見えました。フルインクルーシブ教育対話の場で、手をつなぐ育成会という方々と話合いをしたところでございます。

主な事業報告は以上でございます。何かご質問等ありましたらお願いいたします。

○濱田委員 台風10号の関係で、30日（金）、小中学校臨時休校で非常に心配された台風だったのですけれども、この日は学校給食は大丈夫だったというか、始まっていなかったのですか。

○教育部長 始まっておりまして、中学校のほうはキャンセルということだったのですが、実際にはお米を炊いてしまっているところがございます、そこについては処分いたしました。警報が出てしまったので、それを判断するのも朝ということになってしまいましたので、どうしてもそこは申し訳ないのですけれども。

○濱田委員 大変迷走した台風だから、いろいろなところに、いろいろな影響が出たと思うのですけれども、分かりました。朝早くからの対応、大変ありがとうございました。

○武井委員 18日と25日のフルインクルーシブ教育対話の場、18日は自閉症児者保護者の会、25日は手をつなぐ育成会という感じで、それぞれの会の方々とそういった対話の場を設けているのを毎月定例的に……。

○伊藤教育長 だから、明日は肢体不自由児者父母の会と行いますけれども、まず、障がい者支援団体と行って、その次に不登校支援団体とも行います。10月になると19校全部の学校を回って、全ての学校で教員たちとフルインクルーシブについて話合いをします。

○武井委員 では、その事業の部分をこういった対話の場という形でこれからも行っていくという感じですか。

○伊藤教育長 そういうことですね。でも、今回の場合だと自閉症児者もみんな、普通は、えびな支援学校に行っている方の保護者とか、学校だと支援級に入っている方の保護者の方々がいるので、結構いろいろな意見が出るというか、参考になるというか。でも、その方々ときちんと話をしないで進むことはできないので。

○武井委員 そういった方々の意見も大事ですよ。

○伊藤教育長 でも、行っていると、大体学校への不満の意見が多いね。

○武井委員 この方々のお子さんたちは、もうそれぞれ学校の特別支援級に入っているような感じの方々なのですね。

○伊藤教育長 そうです。あとはえびな支援学校に通っている子たちの親の方たちです。でも、あの方々も、いろいろ話をしていると、最初のうちは支援級とか支援学校がなくなるのではないかなということで心配していたのですけれども、それはないのですよと言ったら、フルインクルーシブの取組については何らかの形で進めてもらいたいという希望が話し合っていると多いですね。ただ、それまでに、教員の数とか、どのように支援するかとか、条件整備と環境整備が必要になるので、その辺はどうやって進めるのですかということをお心配されるけれども、今日の手をつなぐ育成会では、支援級に入っているのだけでも、うちの子もみんなの中で過ごせたらいいなと私は思っているのですということとか、えびな支援学校にいるのだけでも、地域の学校でそれをどうやって進めていくのですかということを質問されている方もいらっしゃるって、気持ちとしてはみんなの中で…。

○武井委員 みんな普通学級に通いたい。

○伊藤教育長 みんなの中で過ごすことのほうがということで、その理由は事前にいっぱい言うので、それならそのように過ごせたらいいのになということでやっています。あとは、保護者の方々の目が急に小学校に行って、あの家庭の子は支援級に行っているのかなのかという、まだそういう感じがすごくあって……。その辺は、社会全体が1つの個性と認めてくれて、過ごせるような社会になればと。そういう意味では、正直言って結構苦労しているかもしれない。時にはつらい思いをして生活しているのが実際なのかもしれないですね。

○武井委員 その家庭でないと分からない悩みがあつて。

○伊藤教育長 そうだと思います。

○濱田委員 学校の現場だけでなく、本当は社会全体がフルインクルーシブになればいけないということでしょう。そうしないと、学校現場だけで幾ら頑張っても……。

○武井委員 逆にそういったお子さんを抱えている家庭のお母さんたち同士で話すのも大事で、夏祭りのときに、うちのテントは、子ども会、小学校、中学校、みんな好きなものを食べて、何でもやっていいよとしていたのですけれども、最後はお悩み相談会になっていて、お母さんたち、みんな泣きながら話をされていて、すごく苦勞を抱えているお母さんたちが同じ町内でも大勢いるのだなと思って、考えてしまいますよ。

○伊藤教育長 やはり生きづらさがあるよね。でも、子どもたちや保護者の方たちには何のあれもあるわけでもなくて、たまたまそうなのであって、その辺はすごく大変な思いを實際はされているのだなというのはよく分かります。話していたら、フルインクルーシブの話で保護者の方から、その人たちはそこに入っていないのだけれども、そういう子たちも一緒に勉強するのだったら、勉強が遅れるのではないかという声が……。要するにそういう声の人たちも實際にいて、その辺が何か違う……。だから、ほかの保護者の方によく説明してくださいと言われました。

○海野委員 結局分からないのではないですか。今まで別にしてきたものなので、どう対応していいのか、本当に分からないという不安があるのではないのかなと思っています。

○伊藤教育長 これから話を重ねながら進めていきたいと思っています。

ほかには大丈夫ですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○伊藤教育長 それでは続いて『第二学期』って？』ということで書いてあります。私も学校を訪れると、第2学期、皆さんにも、運動会、体育祭とかということで、学校は第2学期が一番長くて、いろいろな行事もあって、一番学校教育活動が豊富というか、いっぱい中身が詰まっている学期なのですから、そこに書いてあるように、そういう中で「教育委員のみなさんは、小中学校、どんなことが思い出に残っているのでしょうか。嫌なこともあったでしょうが、楽しい思い出はどんなことが残っているのでしょうか」。あとは、どんな友達とか、どんな先生とかが思い出の中にいるのかなということで、私自身はあの授業が面白かったなとか、そんなことは全然ないので、自分自身、学校は我慢する場所と決めていたので、ただただ我慢して、それ以外のところで……。だから、あまりよい思い出はないのだけれども、やはり遠足とか修学旅行に行ったことが楽しかったなと思っ

ているところでございます。

学校に行けばいろいろな地区の多くの友達に会えたので、そのことはよかったなと思います。うちだと、大森という集落というか、地域の子たちと遊ぶのだけれども、そこに行くと、十日町や五日町、要するに町中でいろいろな子たちが学校に集まってくるから、それはそれで面白かったなと実は思っていることが書いてあります。

私のフルインクルーシブに向かう意図は、不登校で学校に来られない子には申し訳ないけれども、いろいろな子どもたちが1つの場所、学校で共に生活、学習しながら、いわばお互いに作用しながら成長してほしい。子ども同士がいっぱい集まって、作用し合うことがとても大事。だから、成長は人との出会いの作用なのですね。だから、誰かと出会って、自分で作用しながら成長していくということなので、子どもたちもいっぱいいろいろな人たちと出会って、作用して、成長してほしいと思っているので、そういう意味でいうと、学校でみんな集まってきてほしいというものは、不登校とか、いろいろ気持ちも分かるのだけれども、みんな同じところに集まって、みんなでああだこうだ言いながら、ごちやごちやししながら成長してほしいなということで、そこに書いてあります。本当の意味で子どもたちにとって実りの秋になってほしいな、そういう第2学期を過ごしてほしいということをそこに書いてあるところでございます。

以上でございますけれども、武井委員、子どもの頃、学校は楽しかったですか。

○武井委員 楽しかったですね。

○伊藤教育長 面倒くさいこともあるけれども、いっぱい集まって、いろいろな人と会ったほうがいいよね。

○濱田委員 まさに作用ですね。

○伊藤教育長 本当に。

○濱田委員 そう言われてみると、2学期は長い。学校行事も多いですし、運動会とか、遠足とか。最後、2学期の成績によってクリスマスのプレゼントが変わるし。通信簿を見ないで……。

○就学支援課長 サンタさんは見ているのですよ。

○伊藤教育長 サンタさんは見ているの。

○武井委員 サンタさんは見られないはずなのですからね。

○濱田委員 サンタさんの機嫌もそれによって変わるから。大概終業式の夜がクリスマスイブだったでしょう。

○武井委員 遅かったのですね。

○伊藤教育長 そうです。昔はそうでした。

○濱田委員 だから、翌朝の枕もとが大変だった。

○武井委員 ちょっと加工しておけばよかった。

○濱田委員 残念と言うとあれですけども。

○伊藤教育長 海野委員は、子どもの頃、どうだったの。

○海野委員 私は小学校のときはマーチングバンドがあったので、ほかのところは笛だったのですけども、うちの学校はトランペットを持っていたので、結構盛んだったので楽しかったです。

○伊藤教育長 そういうやる場所があったのか。

○海野委員 4年生ぐらいから練習……。一般の子とか……。

○濱田委員 すごいところですね。

○海野委員 何校か近くの学校が集まって、七夕パレードとかをしたりとかして、すごく楽しかったです。

○武井委員 そうですね。授業の思い出って、もしかしたらあまりないかもしれないですね。昨日担任の先生と一緒にだったのですけども、昨日はみんなお尻にバットを当てられたという話をしていて、すごく盛り上がっていましたけども。

○伊藤教育長 でも、本当に子どもたちにもそうやって過ごしてもらいたいと思いますので、また皆さんで支えてやってください。

これは8月号の私の教育長だよりでございます。

○伊藤教育長 それでは、日程に入ります。

報告事項、日程第1、報告第30号、海老名市教育委員会関係職員の人事異動についてを議題といたします。

説明をお願いします。

○教育部長 それでは、資料の1ページをご覧ください。報告第30号、海老名市教育委員会関係職員の人事異動についてご説明いたします。これは、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条第1項の規定により、臨時に代理し発令いたしましたので、同条第2項の規定により今回報告するものでございます。

報告理由といたしましては、令和6年9月1日付けで人事異動を発令したためござい

ます。

資料 2、3 ページをご覧ください。こちらが人事異動の内訳となっております。転出者 1 名のみということで、人事異動を発令いたしました。対象者の内容につきましては資料のとおりでございます。

説明は以上でございます。

○伊藤教育長 これについては質疑ということでもなく、人事異動でそのように進めますというのでご了承いただければと思いますので、よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、報告第30号を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第 1、報告第30号を承認いたします。

○伊藤教育長 続いて、日程第 2、報告第31号、工事請負契約の変更に関する意見の申出について（海老名市立中新田小学校校舎外装改修工事）を議題といたします。

説明をお願いします。

○教育部長 それでは、資料 4 ページをご覧ください。報告第31号、工事請負契約の変更に関する意見の申出について（海老名市立中新田小学校校舎外装改修工事）でございます。

報告理由につきましては、変更契約の締結に関する意見の申出を行ったためでございます。

資料 5 ページをご覧ください。1、概要でございます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、海老名市長から意見を求められたため、異論なしとして申出を行ったものでございます。

2、教育長の臨時代理でございます。こちらは、令和 6 年第 3 回海老名市議会定例会本会議に上程する変更契約の締結につきまして、9 月10日付けで市長から意見を求められましたが、その対応に急施を要したことから、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第 3 条第 1 項の規定に基づき、教育長が臨時に代理し、申出を行ったものでございます。

3、意見を求められた議会の議決を経るべき案件でございます。こちらは、工事請負契

約の変更に関する意見の申出について（海老名市立中新田小学校校舎外装改修工事）でございます。

4、海老名市長からの文書につきましては6ページから8ページに添付してございます。ご確認いただければと存じます。

また、5、教育委員会からの申出文書につきましては9ページのとおりとなっております。

では、一度5ページにお戻りいただきまして、6、根拠法令（抜粋）につきましては、5ページ、一番下にご用意させていただいておりますので、後ほどご高覧いただければと思います。

大変雑駁ではございますが、説明は以上となります。

○伊藤教育長 中新田小学校校舎外装改修工事で、議会の承認を得るような金額の変更…。幾らなのだけ。

○教育部長 1億5000万円以上です。

○伊藤教育長 議会の承認が必要だということで、今回市長からこのことでよろしいかということで、中身について私のほうで代理して、異論ございませんということで市長にお答えさせていただいたことについての報告でございます。

皆さんから、ご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

○濱田委員 今回変更契約の承認を9月議会でもらうということですが、金額もかなり大きいですが、工期については問題ないのでしょうかという質問です。

○教育総務課長 契約期間は令和6年3月27日から令和7年1月17日までの工期でございますが、工期の変更はございません。

○濱田委員 順調に進んでいるという理解でよろしいのでしょうか。

○教育総務課長 今回変更が生じてございますが、現場は順調に進捗してございます。

○武井委員 工事の最中で足場を組んだ後にこういった追加の工事が見つかったということですが、これ以降、また新しくどこかに修繕箇所が見つかるのか、そういった場合はどういった対応で進んでいくのか。それとも足場を組んで、全て調査が終わって、これ以上の追加はないのかどうか、お聞きしたいのですけれども。

○教育総務課長 今回既存の建物の改修工事ということで、当初設計をする段階では、ある程度見込みで数量を出してございました。武井委員おっしゃるように、実際現場に入って、足場を組んで初めて外壁の亀裂の箇所の正確な数量であったり、外壁塗膜を削らなけ

ればいけない数量だったりが明確に出されましたので、今回の変更で、基本的にはこれ以降は変更の数量は出ないところでございます。

○伊藤教育長 基本的にはということなので、ひょっとしたら上がるかもしれないけれども。

○武井委員 また何か出てきそうですけれども、分かりました。

○伊藤教育長 現状ではないということです。いつ出来上がるのだけ。

○教育総務課長 工期末は来年1月17日となってございますので、工期内に完成されます。

○伊藤教育長 ということは、6年生は、外壁だけれども、新しいきれいな校舎から卒業できるということですね。それはよかった。

○武井委員 昔は外壁の色をこどもたちに選ばせるというのをやっていたのですけれども、今回は何かまた違った……。

○教育総務課長 今回の中新田小学校もそうなのですが、昨年やった柏ヶ谷小学校、中学校も同じように外壁の改修工事をしました。今回の中新田小学校につきましても、設計事業者から複数のデザイン案を提示していただきまして、それを基に児童からアンケートを取ったり、投票するような形で、また、先生の意見などを踏まえながら、最終的に学校でデザインを決めているところでございまして、まだちょっと外壁塗りまでは至っていませんが、デザインはそのように決めてございます。

○伊藤教育長 子どもたちが選ぶのはなかなかおしゃれ。

○武井委員 でも、提案するのは施工の……。

○伊藤教育長 でも、幾つかの提案があるので、子どもたちみんなで自由に決めるというのもちょっと難しいので。

一時期、色を塗り直すと、みんなVINA WALK（ビナウォーク）のようになったのだけれども、最近はちょっとシックなおしゃれな感じで、子どもたちはこういう……。

○武井委員 西口っぽい感じ……。そうでもないですか。

○濱田委員 濃紺系、青系……。

○伊藤教育長 でも、全面青ではないよ。

○教育部長 そうですね。ライン的な感じで。

○伊藤教育長 そう、ラインか何か。だから、本当に渋い感じの色を子どもたちは選ぶなと思って……。

○武井委員 楽しみですね。

○教育部長 アクセントが入っているというのですかね。

○海野委員 ずれてしまうかもしれないのですけれども、ごめんなさい、救助袋なのですから、今回、周りを直すということなのですから、避難訓練のときは今もどうか、それを広げて練習したりというのはやっているのですか。

○就学支援課長 コロナの時期に中止して、今、再開しているかどうかというのは、実際にその袋を垂らして、子どもたちがその中を滑ってというのは恐らく今はやっていないのではないかなとは思っているのですけれども。

○海野委員 コロナの前まではやっていた……。

○就学支援課長 コロナ前まではやっていたと思います。

○伊藤教育長 体験できるのは、5、6年生の1クラスとかぐらいしか体験できないので、すごい時間がかかるので。

○海野委員 選ばれし者かしら。

○武井委員 でも、あれは、やったことがないと、いざというときに多分入れないですよ。

○濱田委員 怖いということですか。

○武井委員 ええ。

○就学支援課長 そのとおりだと思います。先生たちも使い方が分からないと、あれを出して、垂らしてということをやらないと……。昔は多分4年生か、5年生で定期的に年1回、まあ、1回は経験するみたいなことをやっていたと思うのですが、今はなかなかそこまでは至っていないかなと思います。

○武井委員 新任の教員の人たちは、もしかしたら出し方が分からないかもしれないですね。

○濱田委員 触ったことがないかもしれない。

○伊藤教育長 あれは建築基準法とかそういうので、何階以上の建物となったら設置しなければいけないということなのですか。そういう決まりがあるということですか。

○教育部次長 建築基準法上、ある程度の規模ですとか施設により、つける、つけないは決まっていますので、例えば建物でいくと、煙感知器なんかも200平米以上ある建物にはつけなさいとか、そういうがあるので、それに則って設置されていると思います。

○濱田委員 こどもセンターの建物はないの。大丈夫ですか。

○教育部次長 階段は2つあるので、脱出できます。

○伊藤教育長 だって、学校は階段が山のようにあるよ。

○武井委員 でも、外階段はないのでしたっけ。

○伊藤教育長 学校はない。

○武井委員 ある学校はあるのでしたっけ。

○伊藤教育長 あるところはあるけれども、使っていないから、大分朽ちてきて、かえって危ない……。

○武井委員 基本はないのですか。

○濱田委員 今度はセキュリティー上……。

○武井委員 そうか。

○教育部次長 二方向避難なので、最低2か所はあると思うのです。バスも前と後ろ、幼稚園バスだと後ろにも扉があるように、そういう形で設計はされていると思います。

○伊藤教育長 実際のところ、救助袋を訓練のときは毎回使ったりなんかしているということについては現状では行われていないけれども、設置基準に合わせて、建物を造るときにそれが設置されていることが大きいですね。

○武井委員 さっき教育長が言ったみたいに、やっぱり普通に階段で一斉に避難したほうが早いはずですよ。

○伊藤教育長 早いです。だって、子どもたち、あれだけの大人数の命を守るといったら、そちらを確保して……。

○武井委員 100人だったら10分くらいで階段を降りられるような気がしますね。

○伊藤教育長 実際はそういうところなのだよ。ただ、設置している以上、それについては訓練等は必要になると思います。

○濱田委員 考えてみればあんな高いマンションはどうやっているのだろうね。

○武井委員 いや、だから、ああいうマンションはそういうものがないですからね。2階からだったらいいですけども。

○濱田委員 延焼の防止と倒壊防止で、避難しなくても、そこにいれば安全という形に造られている。エレベーターが止まったら、階段で避難する……。だから、救助袋なんか作っても降りられない。

○教育部次長 普通のマンションだとバルコニーによくハッチがあって、そこではしごとか……。それで下の階まで行って。

○伊藤教育長 消防隊ではないのだから。ただ、それを今、設置なり替えると結構な金額にはなりますから。その辺は……。

○武井委員 こんなに高額だとは思わなかったです。こんなにするのですね。

○伊藤教育長 給食センターの頃は、資材の調達とか物価高騰で変更契約せざるを得ないという状況がありましたけれども、これについては実際に見てみたら箇所が増えているということでの変更でございます。

では、中新田小学校は、圏央自動車道から降りてきたら見えますので、そこにきれいな学校があるなというふうになることを楽しみにお願いいたします。

それでは、日程第2、報告第31号を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第2、報告第31号を承認いたします。

○伊藤教育長 続いて、日程第3、報告第32号、海老名市中学3年生応援インフルエンザ予防接種助成金交付要綱の改正についてを議題といたします。

説明をお願いします。

○教育部長 それでは、資料10ページをご覧ください。報告第32号、海老名市中学3年生応援インフルエンザ予防接種助成金交付要綱の改正についてでございます。

報告理由につきましては同要綱の改正を行ったためでございます。

詳細につきましては山田参事兼就学支援課長からご説明申し上げます。

○就学支援課長 資料11ページをご覧ください。海老名市中学3年生応援インフルエンザ予防接種助成金交付要綱の改正についての詳細でございます。

1、要旨をご覧ください。本事業は、平成30年度から令和4年度まで、海老名市在住の中学校3年生に対し、インフルエンザ予防接種費用の公費負担を行ってまいりました。インフルエンザは例年冬季に流行しますが、昨年度は4月以降の学級閉鎖が発生するなど流行が収まらず、感染拡大が懸念されるため、学校生活を共にする中学1、2年生についても助成対象といたしました。しかし、本年度は、現在に至るまでインフルエンザによる学級閉鎖の発生はなく、インフルエンザの感染拡大も見られない状況です。

よって、中学3年生が次のステップに進むことを応援するという本来の趣旨に基づき、令和4年度以前と同様、中学校3年生のみを助成対象とするため、標記要綱の一部を改正

するものでございます。

2、対象者です。(1)海老名市立中学校に在籍する中学3年生、(2)海老名市在住の中学3年生。昨年度は全学年約3700人が対象だったところ、今年度は中学3年生約1250人が対象となります。

3、自己負担額は1000円、接種回数は1回限りといたします。

4、助成期間ですが、令和6年10月1日から令和7年1月31日までとするものでございます。

5、令和5年度実績(中学全学年)については後ほどご高覧いただければと思います。

6、今後のスケジュールです。本日、定例教育委員会報告、10月1日施行を予定しております。

報告は以上です。

○伊藤教育長 それでは、ただいまの説明についてご質問等ありましたらお願いいたします。

○海野委員 今年は3年生だけということなのですが、これから増えてきたとして、そのとき1、2年生に対応していくことはない……。

○就学支援課長 昨年度は、コロナ感染症が感染症法上の5類に移行した関係で、5月以降、インフルエンザとかコロナで複数の学級閉鎖、学年閉鎖というのが発生した状況でした。今のところ、コロナ前の状況と同じように、この間、コロナで1つ学級閉鎖が出たのですけれども、それ以降、大きな拡大は見られない。現状を見ていくことに間違いはないのですけれども、今のところは拡大するという方向では考えておりません。

○伊藤教育長 通常の毎年の冬季のインフルエンザの流行はあるでしょうけれども、それ以外に、要するに1、2年生も必要になるような爆発的などと言わないけれども、流行が拡大するとは今は踏んでいないということでございます。

ほかにはいかがですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、ほかにご質問はないようですので、報告第32号を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第3、報告第32号を承認いたします。

以上をもちまして本日の日程は全て終了いたしましたので、教育委員会 9 月定例会を閉会いたします。